

図書館だより

☆9月の開館予定（変更になる事もあります）

日	月	火	水	木	金	土
				1 正▲ 共○	2 正▲ 共○	3 休館
4 休館	5 正▲ 共○	6 正▲ 共○	7 正▲ 共○	8 正▲ 共○	9 正▲ 共○	10 休館 オープンスクール
11 休館	12 正▲ 共○	13 正▲ 共○	14 正▲ 共○	15 正▲ 共○	16 正▲ 共○	17 休館
18 休館	19 休館	20 正▲ 共○	21 正▲ 共○	22 正▲ 共○	23 休館	24 休館
25 休館	26 正▲ 共○	27 正▲ 共○	28 正▲ 共○	29 正▲ 共○	30 正▲ 共○	10/1・2 休館

開館時間

正（正道館学習室）

共（共生図書館）

▲7：00～17：00

○9：00～19：30

街路樹のハナミズキ
に赤い実が付き始め
色付いた葉も・・・
夏も去ります。



☆新着予定本情報

■『小説 すずめの戸締まり』新海誠・著（映画 11/11 よりロードショー）

九州の静かな町で暮らす17歳の少女・鈴芽（すずめ）は、旅の青年との出会いから全国各地で開かれた災いの元となる「扉」を閉める旅へ出ることになる。過去と現在と未来を繋ぐ物語です。



■『腹を割ったら血が出るだけさ』住野よる・著

友人たちと共に、一見充実した日々を送るように見える糸林茜寧は「ある思い」に囚われている。そのために本心を隠し続け、日々、心がすり減っていく……………。

10代から圧倒的な支持を受ける作家の新境地。それぞれの一步が響き合う青春群像劇の開幕です！

☆新着本情報

■『早朝始発の殺風景』青崎有吾(1991年生まれ 明治大卒)・著

ハラハラ、ドキドキ、そして何とも言えない清々しさに満ちた短編とエピソードが入った作品。高校生の日常に潜む心の機微を優しく掬い取った物語です。大学の創作論のテキストにも用いられ、文豪や戦後日本文学者、現代文学の旗手、海外の作家などの50作を押さえた年度末の大学生のアンケート「印象に残った作品」で必ずベスト3に入るのが、本書収録の『三月四日午後二時の密室』。中学生から読めます。読んでみてください。



☆映画化作品 ■『母性』湊かなえ・著

「これが書けたら、作家を辞めてもいい」と作者が語った渾身作。母と娘がテーマです。(戸田恵梨香、永野芽郁・出演)

☆月の出てくる極上の小説（9/10は中秋の名月）



■『つきのふね』森絵都・著

最後のページがあまりにも素晴らしく、その余韻がいつまでも心に残る深い味わいのある名作です。主人公の中学2年生の揺れ動く気持ちに共感できるのではないのでしょうか。

短時間で読めます。